

# 學報

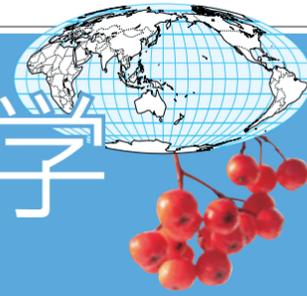
学校法人 北海学園

## 北海商科大学

商学部 [商学科・観光産業学科]

アジアの時代にアジアを学ぶ

Hokkai School of Commerce Newsletter



Vol.31

2021.12.20

発行:北海商科大学  
編集:北海商科大学広報委員会  
〒062-8607  
札幌市豊平区豊平6条6丁目10番  
地下鉄東豊線「学園前」駅直結  
TEL:011-841-1161(代表)  
FAX:011-841-0801  
https://www.hokkai.ac.jp  
制作:(株)ラポット

### 主な記事

- 2. 後期履修登録実施と後期授業の開始 — 2面
- 3. ワクチン大学拠点接種(職域接種)を終えて — 2面
- 4. オープンキャンパス開催 — 2面
- 5. FD情報交換会開催「遠隔授業の実践例」 — 3面
- 6. 2021、2022年度キャリア支援 — 3面
- 7. 就活インタビュー — 3面
- 8. 第9回高校生懸賞作文の入賞者決定 — 3面
- 9. 森本正夫学長を追悼して — 4面
- 10. 国際交流事業について — 5面
- 11. 大学院研究科修了式 — 5面
- 12. 中国語・韓国語コンテストでの受賞続く — 5面
- 13. 「研究のいま」大柳幸彦教授 — 6面
- 14. 北海道地域観光学会全国大会 — 6面
- 15. OB・OG NOW! — 6面
- 16. 高大連携プログラム実施 — 7面
- 17. ゼミ訪問 伊藤寛幸ゼミ — 7面
- 18. 卒論インタビュー — 7面
- 19. STAFF NOW! — 8面
- 20. 新刊紹介 — 8面
- 21. カウンセリングルーム Newsletter -10 — 8面
- 22. 行事予定 — 8面

## 後期履修登録、授業スタート!

### 学生・教職員を対象に、ワクチン大学拠点接種を実施



9月14日に後期履修登録が始まり、27日から後期授業がスタートしました。上写真は3年生の履修登録の様子



写真:新型コロナウイルス・ワクチン大学拠点接種は、8月30日～9月2日、9月27日～30日に北海学園大学8号館を会場として実施されました



## 1 本学のコロナ禍の対応



学長代行 伊藤 昭男

北海道では6月21日～7月11日の「まん延防止等重点措置」期間終了後、オリンピック開催期間における感染者の増加に伴い8月27日～9月12日までを「緊急事態宣言」期間としましたが、さらに9月30日まで延長がなされました。9月30日には「緊急事態宣言」が解除されましたが10月1日～31日までを「秋の再拡大防止対策期間」として「時短要請」など、独自の感染予防対応に努めています。

新型コロナウイルス感染症に対する本学の対応は、こうした政府・自治体による措置や文科省からの各種通知にも沿いながら慎重な感染防止対策に努めてきた結果、大規模クラスターをはじめとする深刻な状況に陥ることなく、相応の安全性を維持してきたと考えております。

学生・教職員を主対象者とした「新型コロナウイルス・ワクチン大学拠点接種(職域接種)」も関係政府との調整の上、1回目のワクチン接種を8月30日～9月2日の4日間(接種者:約3,300名)、2回目のワクチン接種を9月27日～30日までの4日間(接種者:約3,300名)、北海学園大学8号館を会場として実施することができました。

こうした状況の推移の中で、9月27日からは後期講義がスタートしており、引き続き感染予防を考慮した講義形態(対面、遠隔)により授業が進められています。

現段階(10月12日)では、ワクチン接種が広がった影響もあるのか、北海道をはじめとして全国的に感染者数が低下する傾向がみられています。しかし、感染の波が繰り返して生じてきた経緯からすると完全に収束に向かうとは言い切れず、引き続き感染状況を注視しながらリスク回避対応をしていくしかありません。油断せずに基本的な感染防止対策(マスク着用、手洗い・手消毒、三密回避、換気など)を継続的に実施し、“感染しない・感染させない”行動を心掛けていく必要があります。そうしたリスクを下げる対応を各自が自覚して実行していくならば、必ずや、日常的な生活が取り戻せるでしょうし、大学活動もまた全面的再開として“集いの中で知識を広め合う大学生活”を過ごせるようになるものと確信しています。そのためにも、引き続き辛抱が続くかとは思いますが、粘り強く、希望をもって日々の大学生活を過ごしていこうではありませんか。

(学長代行 伊藤 昭男) (11月6日記)



写真上、下…9月14日からは感染予防を考慮した中で後期履修登録が行われました



# 後期履修登録実施と 後期授業の開始について

本学では、学生及び教職員の健康と生命の安全を確保することを第一に考え、昨年度前期より新型コロナウイルス感染症に対して3密（密閉・密集・密接）を回避することを基本として、①大学が講じる対策（教職員のマスク・フェイスシールド着用、出入口の常時開放及び一定時間間隔での教室内換気の実施、授業時の人数制限（教室定員の1/2以下）と密集回避のための座席指定、対面授業の免除等）、②学生に要請する対策（登校前の検温励行と倦怠感・発熱時の登校禁止、登校時の検温励行と発熱時の下校、マスク着用の義務化、登下校時・授業前後の手洗い・アルコール消毒等）に分けて、全学的に周知の徹底と対策の遵守を図りながら授業を実施してきました。

後期においてもそれらを継続し、原則としてオンラインを活用した授業を実施することとしました。ただし、語学、実習、演習、設備面で対面であれば教育効果が見込めない科目については対面授業が必要不可欠と判断し、一部の科目で3密対応型の対面授業を実施することとしました。

そうした基本方針の下で、教務センターでは後期の授業開始に先立って、科目ごとに授業形態に関する教員の意向を調査し、全科目を①対面授業（3密対応型）で行う、②対面授業（3密対応型）と遠隔（リアルタイム等）授業を併用して行う、③遠隔（オンデマンド等）授業のみで行う、④その他（独自の授業形態）で行う、といった4形態に分類し、それらを後期授業時間割表に反映させて後期ガイダンス時にCoursePowerを通じて公開しました。4形態による授業は、学期途中で新型コロナウイルス感染の状況変化に応じた対応を行うことを前提にして、令和3（2021）年度後期の授業は9月24日にスタートを切りました。



履修登録は3密にならないように、教員立会いのもとに行われました（9月16日）

## 2年次所属学科選択と履修登録

2年次所属学科の選択に際しては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年に続き両学科長による対面での学科説明会並びに専門ゼミナールⅡの見学会を中止としました。それらに代わり、両学科長による学科紹介動画を5月17日から6週間にわたりオンラインで公開して学科の科目構成や特徴の説明等を行い、専門ゼミナールⅡの紹介動画も5月31日から4週間オンラインで公開しました。そのうえで、志望学科届の提出を6月14日から2週間CoursePowerで受け付けました。学科ごとの志望人数は、選考対象学生224名に対し商学科162名、観光産業学科55名、志望学科届未提出者7名でした。両学科定員比率（商2：観1）に基づく人数に近づけるため、未提出者7名と商学科志望の13名を観光産業学科所属とし、商学科149名、観光産業学科75名で最終的に所属を決定して、8月6日に選考結果をCoursePowerと学内掲示板で発表しました。一方、後期履修登録は1年次生から順に9月14日からの4日間、履修登録の訂正は9月18、21日の2日間、いずれも感染症対策を講じたPC教室で行いました。（教務センター長 佐藤 博樹）

# ワクチン大学拠点接種 （職域接種）を終えて

北海学園大学と共同での大学拠点接種（於：北海学園大学8号館、第1回8月30日～9月2日、第2回9月27日～30日）が無事に終了しました。この間学生、教職員併せて延べ6,400人へ接種を完了しました。接種への不安や緊張した面持ちの学生を見かけましたが、終了後は「接種できて安心した。」とホッとした和らいだ表情や笑顔が印象的でした。

2回目接種を終えた頃から、札幌市において感染拡大の第5波が落ち着き始め、このタイミングで多くの学生、教職員へワクチン接種ができたことは、後期からの授業や大学等の活動に向けての一助になったのではないかと思います。ご協力いただきました皆さまには心から感謝いたします。今後変異株の感染拡大や「ブレイクスルー感染（接種後の感染）」などの不安もありますので、引き続きこれまでの感染予防対策を継続していきましょう。（医務室 西川 葉子）



写真上：接種会場受付  
写真下：接種会場

# オープンキャンパス開催

## 3期4日間オンラインと対面で実施

本年度のオープンキャンパスは、6月20日、7月17日・18日、9月26日の3期4日間に渡って実施しました。本年度は、高大接続改革のもとで進められる新入試制度が2年目を迎え、出願方法をwebに変更して実施する初年度となりました。他方、昨年度からの新型コロナウイルス感染症が引き続き大いに懸念される中での開催となりました。

特に、新型コロナウイルス感染症への対策には、十分な配慮と慎重な姿勢をもって、実施計画を見直し、緊急事態宣言が発せられた春先には6月20日に予定したオープンキャンパスの学内実施を見送り、オンラインでの開催に切り替えました。具体的には、事前に本学のホームページから登録していただいた方を対象にして、大学の概要説明や模擬講義などを動画で配信して視聴して頂くとともに、個々のご質問などにお応えしたものです。

緊急事態宣言が解除された7月と9月のオープンキャンパスでは、慎重な感染対策を検討し、午前と午後同一内容を2回繰り返して参加者の3密を避けるなど、事前予約と人数制限の下で開催しました。その結果、年度を通しての参加者数は開学以来最多だった一昨年の558名から289名（昨年329名）へと減少しました。9月の参加者に依頼したアン



ケートからは、「実際のキャンパスの雰囲気を知ることが出来た」「模擬授業や個別相談が参考になった」などの回答が多く見られたことや、「3年生」や「保護者」の参加が多かったことなどが見て取れました。また、オープンキャンパスを知った理由については「大学案内・パンフレット」「本学HP」に続き、「高校の先生からの進路指導」が多くあげられたことは本学の特色であると思います。

毎年、本学のキャンパスを広く社会に開き、共学ポリシーに共感する皆さんにご来学をいただいて、高校生や保護者と在学生や教職員とのよき交流の場となってきたオープンキャンパスは、ウィズコロナ・アフターコロナに応じた内容となるよう検討しながら、一層の工夫・改善を図りたいと思います。（入試・広報センター長 堂徳 将人）



写真左上：保坂智准教授による模擬講義、写真右上：水野俊平教授による韓国語語学体験、写真右2点：個別相談、写真右：開会式の挨拶にて、本学の歴史や建学精神、本学の3つのポリシーなどについて語る堂徳将人入試・広報センター長 \*写真は9月26日撮影



# FD 情報交換会開催 「遠隔授業の実践例1」

『遠隔授業の実践例1』として、『「対面型授業」をオンライン上でどのように表現するか？—レポート、フィードバック、評価—』を題目として報告しました。

オンデマンドであれば、リアルタイムオンラインであれば、オンライン授業導入に際し、最も意識したのは、オンライン上でいかに「対面授業」と変わらない質を創り出すか？という点にありました。

コロナ禍以前の対面授業では、学生に対し講義終了後に小レポートの提出を課し、それをルーブリックに基づいて採点して、次回授業時に返却し講評する、というやり方をしていました。また、授業の合間に問題を出し、その場でコメントシートに回答させて、それを回収し解説する、といったことも実施してありました。こういった教員と学生間の双方向性を持たせた授業を、LMS(Google Classroom)とWeb会議ツール(Meet)を通じ、試行錯誤を重ねながら展開してきました。

本報告では、このような私のオンライン講義の一端とそれに対する学生の反応を授業評価アンケートに基づいて紹介しました。(山田 勅之)

\*FD (ファカルティ・ディベロップメントの略) は教員が授業内容・方法を改善し向上させるための取組として行っています。



写真上：山田勅之教授の発表  
写真下：大柳幸彦教授の発表

# 2021、2022 年度の キャリア支援について

新型コロナウイルス感染症の下で2年目をむかえた今年の就職活動は、徐々に落ち着きを取り戻しつつあるようです。4年生(2022年3月卒)の就職活動は、昨年と比較すれば学生と企業の双方で就職・採用活動をめぐる混乱がどうか収拾に向かい、業種・企業等による差がいまだに大きいものの、内定率などがコロナ禍以前の水準を回復したとする報道も一部で見られます。昨年は春以降に新型コロナウイルスの感染対策による活動自粛が社会全体に拡がり、5月には企業の採用活動全体が一時的に止まってしまうなどして、新卒採用を巡る状況がコロナ禍で大きな影響を受けました。しかし今年5月に感染者数の大幅な増加があったにもかかわらず、採用活動は続いていました。

4年生の就職内定者が増え始める5月連休明けから6月にかけての期間の内定率は、2021年も昨年に引き続いて2019年実績を越えていると、主要な就職情報企業の調査結果が報道されています。多くの企業で採用活動が、これまでも増して前倒しで進行している状況が窺い知れます。正式内定となる10月時点で主要企業の内定者数を調べた日本経済新聞の報道では、内定者数が前年比で2.2%減ったが、昨年の11.4%減から状況が改善したと伝えています。今後も若年人口の減少が続く状況を考慮し、企業側は一定の新卒採用数を維持しようとしているようです。大手・中堅企業の採用活動が活発な前半に対し、後半は札幌など地場企業の採用活動が本格化しますが、採用傾向が大きく変わることはないと思われます。

現在の3年生(2023年3月卒)の就職活動に関しても、形式は別としてスケジュールはコロナ禍以前に基本戻ります。昨年は各企業の採用担当者が集まる2・3月の合同業界研究会や合同企業説明会の多くが対面形式での開催を中止し、インターネットを利用した遠隔での開催となりました。それに続く企業による広報・選考活動も、大手企業ではWEB上で会社説明会と選考のための1・2次面接を実施するという形式でした。新型コロナウイルスの感染再拡大の心配もあるので、こうした対応が今後しばらくは続きそうです。

3年生の夏休みを念頭に実施される各企業のインターンシップの実施率は、ネット開催が増えたとはいえコロナ禍でも8割を超える水準が続いています。本学の3年生向け就職ガイダンス/講座も、今のところインターネットを利用した遠隔形式による実施となっています。また北海商科大学・北海学園大学の学生向け就職支援は、ポータルサイト「ミナトコム」に大きく負うところとなり、サイトへの登録は大変重要です。大学のキャリア支援活動はミナトコムが中心となるので、就職情報サイトへの登録に加えてミナトコムへの登録を必ずおこない積極的に活用してください。(キャリア支援センター長 村松 祐二)

## 2022年 合同業界研究会 / 合同企業説明会 (3年生)

2022年2月21日(月)・22日(火)	学内合同業界研究会 (WEB開催)
2022年3月1日(火)・2日(水)・3日(木)	学内合同業界研究会 (対面開催)

状況等により変更となる場合があります。

# 第9回高校生懸賞作文の 入賞者決定

(主催：北海商科大学 後援：北海道新聞社)

2021年度北海商科大学主催(北海道新聞社後援)「高校生懸賞作文」には道内各地から62編の応募がありました。本学主催の高校生懸賞作文の募集は、2012年度より実施し今回で9回を数えます。

高校生懸賞作文募集の趣旨は、高校生の鋭い観察眼で現代の市場、マーケティングに関心を持って頂くことです。本学の取り組みが少しずつ道内の高校生に認知されるようになってきています。

作文のテーマは「①日本も含めアジアの人に広く薦めたい私のまちな観光スポット」「②日本も含めアジアの人に広く薦めたい私のまちなグルメ」「③日本も含めアジアの人に広く薦めたい私のまちなお土産」のうちどれか一つを選んで応募していただきました。

厳正な審査の結果、表のとおり17名の方々が入賞されました。コロナ禍のため今年度も表彰式は開催せず、入賞者には表彰状と副賞(図書券)をお送りします。

(入試・広報センター 橋元 理恵)

## 就活 Interview



商学科4年  
金澤 裕樹さん



観光産業学科4年  
小林 花来さん

コロナのことで就活状況が厳しくなるように思い、早め早めに動こうと思いました。祖父や伯父が漁業者で子供の頃から手伝いをしていて、1次産業関連、特に水産業に関わる仕事に興味を持っていました。学内外の合同説明会で様々な企業を回っている時に北海道ぎょれん(北海道漁業協同組合連合会)と出会い良い会社(協同組合)だと思い、何度も説明会に伺い志望企業としました。早めに絞ったことで、就活対策が迷いなく進められ内定が得られました。担当者の方からGBA対策を勧められ、参考書、問題集などを何冊も買いその特徴である数的処理計算を毎日のように4、5時間はやりました。選考ではその成績が一番大事だと思い、集中して取り組みました。

また、面接でどれだけ自分の考えを伝えられるかが重要なので、所属ゼミの先生には何度も模擬面接をやっていただきました。そして、就活や物事に集中して取り組めるようになったのは、アルバイトやボクシングジムで体を鍛えた経験があったからです。志望企業が求めることは何かを考え、GBAの勉強もそうでしたが、コツコツと継続、集中してやり続けることが大事だと思います。

旅行することが好きで、大学では観光の勉強をしたいと思い観光産業学科を選択したのですが、まだ将来的な進路とは結びついていませんでした。3年生になり周りの友達などが企業説明会にスーツ姿で臨む姿を見て、自分もしっかり就活に向かわなければと思うようになりました。旅行、観光に関する職種として宿泊業、輸送業、広告業など25社ほどエントリーしましたが、合同説明会でトラベルコーディネーターの業務を知り興味を持ちました。そこから志望を観光業に絞り企業単独の説明会に参加しましたが、面接が一番大事だと思い、経験を積むために数多くの企業にエントリーしました。

学生時代に何をしたら、学んだかは必ず聞かれます。私の場合はキャリア支援センター職員の方に、面接時の対応についてとても具体的な指導をしていただきました。様々な質問を想定してベストな対応を考え臨むことができ、複数の内定をいただきました。

よさこいサークルの活動に力を入れていたことや、一番問われると思うその仕事への意欲を熱意をもって伝えました。今からでも遅くないので、どう取り組んだか大学生活を見直して備えてほしいです。

\*GBA (Graduate Aptitude Battery=総合適性診断テストのこと) はSPIのように企業の採用試験に使用される適性検査の一種。得点を取りにくく、しっかりとした対策が必要とされています。

## 入賞者

賞	氏名	高校名・学年	テーマ
1位	中田 亜未	富良野緑峰高校3年	グルメ
	佐藤 幸太	富良野緑峰高校3年	グルメ
	三上 優奈	北海道札幌東商業高校1年	グルメ
2位	山本 幸来	北海道札幌東商業高校1年	観光スポット
	田中 蓮	北海道札幌東商業高校3年	グルメ
	風間 梨羽	北海道札幌東商業高校1年	観光スポット
	早坂 佳奈	富良野緑峰高校3年	観光スポット
	花松 ころも	北海道札幌東商業高校3年	グルメ
3位	北川 さくら	富良野緑峰高校3年	グルメ
	横山 真也	富良野緑峰高校3年	観光スポット
	菅原 未鈴	富良野緑峰高校3年	観光スポット
	高橋 虹奈	北海道札幌東商業高校1年	観光スポット
	増廣 真太郎	北海学園札幌東商業高校3年	観光スポット
	矢萩 雄大	市立札幌新川高校2年	グルメ
	海島 夕鈴	北海道札幌東商業高校1年	観光スポット
	枝 藍来	北海道札幌東商業高校1年	観光スポット
	小田 葉月	北海道札幌東商業高校1年	グルメ

[敬称略]



## 森本正夫学長を追悼して



学長 森本 正夫  
学校法人 北海学園理事長

本年6月1日、89歳で他界した学校法人北海学園理事長・北海商科大学長の森本正夫先生の「お別れの会(学園葬)」が令和3年7月10日、ホテル札幌ガーデンパレスにおいてしめやかに執り行われました。コロナ禍にもかかわらず、教育関係ははじめ各界から約700人の方々が参列し、故人との別れを偲びました。ここに改めて哀悼の意を表します。

森本先生に初めてお会いしたのは確か平成6(1994)年2月の教員採用面接のときと記憶しています。北海学園北見大学(北海商科大学の前身)が、新学科(観光産業学科)を設置するのにあわせてのことでした。それ以後はキャンパスが北見であったこともあり、お会いする機会は少なかったですが、学部長に任ぜられてからは各種会議をはじめお会いする機会が増え、先生の人となりにも触れることができました。先生は自著『私の教育人生-北海学園と歩んだ50年』(平成16年発行)において「過ぎし72年間、まさに波瀾万丈な人生のなかで、その間50年にわたり、教育・研究に従事するというすばらしい天職を与えられたことに感謝している」と述べられています。良識ある考え方や生き方を形成する機能は教育であることを信じ、それを実践されてきた先生にとって、教師であること、また学校法人の経営者であることは正に天職であり、それを通じて日本社会の充実・発展に多大なる貢献を成し遂げられました。

北海商科大学をはじめ学校法人北海学園に携わる我々一同は、ここに改めて先生のご尽力に対し心からの敬意と哀悼の意を表すとともに、先生の教育に捧げられた思いと遺志を継承し、北海商科大学および学校法人北海学園の今後の発展と社会への負託に邁進する所存です。重ねて哀悼の意を表し、追悼の言葉と致します。

(なお、森本先生の学校法人北海学園の安定と充実発展への尽力、わが国の教育振興への貢献、また、国際交流ならびに国際友好親善の推進実績については、先の『学報30号(2021年6月25日発行)』に記載されております。改めてご確認願えば幸いです。)

学長代行 伊藤 昭男



7月10日に、札幌ガーデンパレスで行われた森本正夫学長のお別れ会(学園葬)会場

喪礼莊嚴本義哀、 喪礼莊嚴なるも 本義は哀  
治知行迹乃基台、 知を治むるも 行跡すなわち基台  
隱憂以酒非消索、 隱憂は 酒をもって 消索あらず  
不覺先師占百魁。 覺えず 先師の 百魁を占む

追悼の詞書はどんな形式で表現すべきか、よく分からない。喪は厳粛な儀礼を以て執り行われるが、本質的な人間の感情の表出は悲哀の情にある。

大学教授にとって、知を求め、学を重ねることは大切であるとしても、教育という土台の上でそれが実践されなければ、本当の意味での学識にはならない。

故森本理事長は、本義、本質の意味を十分に解さないのに、枝葉を豊かにすることばかりに務めてはいけなしいとされていた。アジアの時代の到来を予見し、アジアの可能性を信じ、アジアの若者たちに教育実践することに一生を捧げた、故森本先生と共有できた時間を惜しむ。中国、北朝鮮、ヴェトナムを共に旅して、近代的な自由・平等・ベンサム思想よりも、また社会主義という新しいシステムが生む道徳観よりも、東アジアに根付いた人間関係に固有な仁と義を重んじる価値観、これが土台であり、本義、本質であり、アジアの時代にアジアを学ぶ意義はここにあると教えられた。

騒ぐ酒も楽しい酒も、私にはないが、心に奥深くとどまる憂は、酒を以てしても消し去ることはできない。小人にとってみれば、先人の偉業をいまだ理解などできないせいなのかもしれない。だから、故人の業績と意思を引き継ぐのは、もはや私の務ではないと心得ている。故人が思い描いたように、次世代に期待したい。

北海学園特任教授 西川 博史

森本正夫理事長のご逝去を知り、驚くとともに深い悲しみを覚えました。私たちが北海学園北見大学に留学した時に、森本先生から受けた思いやりを思い出して涙があふれました。森本先生は、北海道の厳しい寒さを避けるために、宿舍の費用や光熱費を免除され、素晴らしい留学環境を用意してくださいました。森本先生には、学生時代はもとより、卒業後も親しくご指導いただき、時には親よりも親身に御叱正をいただきました。いつも父親のような愛情を感じました。恩師が懇々と私たちに諭してくださいましたこと、博学であること、そして私たち留学生に対する教育事業に力を尽くされたことに、いつも感動していました。私たちが北見大学を卒業してから10年以上が経ちましたが、今も森本先生の生前のお姿と北見での留学生生活を思い出します。

森本先生は、ライフワークとして日中友好に取り組みされました。先生のご逝去は、日本の教育事業と日中友好の双方に巨大な損失をもたらしました。森本先生の教育理念と、生涯をかけて取り組まれた日中友好交流事業が、今後も永続することを心から祈ります。これからご恩返しという時に森本先生を失ったことは、本当に残念です。今後は、森本先生からいただいた教訓を生かして歩むことが、ご恩に報いる道と思い、頑張っていく覚悟でございます。

2021年6月9日 北海学園北見大学元留学生及び商科大学中国人民大学院生一同より

写真右…元留学生が寄贈した哀悼の書画について  
北海学園北見大学の元留学生と北海商科大学の中国人民大学院生が森本学長を哀悼し、書と絵画を北海商科大学に寄贈しました。森本学長の「仁」を懐かしみ、論語から「里仁為美」の言葉を引用しています。北京五輪の会場の壁画を描いた劉慶利さんが絵を、書家の柏東さんが哀悼の書をそれぞれかいています。



# 国際交流事業について

## 交流再開の時期を見極める

昨年から続く新型コロナウイルスの影響により、本学の国際交流も大きな影響を受けざるを得ませんでした。北海商科大学は中国（山東大学【威海】、煙台大学）・韓国（大田大学校）・カナダ（レスブリッジ大学）の協定大学と交流事業（学生・交換教授の派遣・受け入れ）を行っています。まず、カナダのレスブリッジ大学との交流は、本年度が受け入れ（3週間）の年でしたが、すでに昨年12月の時点で先方から派遣中止の連絡があり、受け入れの中止を余儀なくされました。また、中国・韓国への派遣事業は、両国の「感染症危険レベル」が「レベル2（不要不急の渡航は止めてください）」であったため、中止となりました。本学では外務省が公表した「感染症危険レベル」が「レベル2」以上である国と地域に対する交流事業を行わないという方針を定めております。現在、中韓両国でのワクチン接種率は上昇しており、爆発的な感染は収まっている状態ですが、学生のみなさんの安全を第一に考慮し、慎重に交流再開の時期を見極めていきたいと考えています。（国際交流センター長 水野 俊平）



写真上：協定校のカナダレスブリッジ大学、写真下左から山東大学【威海】、煙台大学、大田大学校

# 大学院研究科修了式

## 秋入学・大学院学位記授与式を挙行

令和3年度秋入学・学位記授与式が8月28日、本学学長室で挙行されました。昨年同様、新型コロナウイルス感染症の拡大防止・感染予防の観点から、開催時間を短縮し、参加者も限定する等、感染防止対策を徹底するなか、伊藤昭男学長代行から大学院3名の卒業生に学位記が授与されました。1名に博士号、2名に修士号（中国交流協定校からの留学生）が授与されました。会場となった学長室には研究科長、指導教員らが駆け付け、晴れやかに博士の衣装を身に着けた修了生らを祝福しました。式後の会場では、指導教員と揃っての記念写真を撮るなど、コロナ禍とはいえ、非常に和やかな修了式となりました。

これまでに学位記授与した院生は、今回の修士2名、博士1名を加え、修士課程35名、博士10名の計45名を数えることになります。

特に、今回の学位授与者は、今まで経験したことのないコロナ禍で、調査研究がかなり制限される状況の中、最後まで全力で論文を完成させたことは、今後の人生において大きな糧となることでしょう。加えて、本学で得た知識・技術のみならず、広い視野と確固たる理念を胸に、未来の社会における不確かさや不透明さを減らしてゆくことに何らかの形で貢献してくれることを願っています。（大学院研究科長 阿部 秀明）

10  
11  
12



博士、修士課程修了の学位記を伊藤昭男学長代行から授与される修了生の皆さんと研究科長、指導教員の先生方

## 中国語・韓国語関連コンテストでの受賞続く

### 中国語スピーチコンテスト連続受賞!

北海道においては、毎年5月に「全日本大学生中国語スピーチコンテスト」および「漢語橋世界大学生中国語コンテスト」の北海道ブロック大会（漢語橋）が、10月に「全日本中国語スピーチコンテスト北海道大会（中国語スピコン）」が開催されてきました。今年度の「漢語橋」は5月29日（土）、オンラインにより開催され、本学3年の紅屋華穂さんが3位を獲得しました。



また、10月10日（日）に開催された「中国語スピコン」に本学から出場した1年の菊池勇太君、2年の池上歩実さんと中村早那さんが、3人もそれぞれの部で入賞しました。菊池勇太君が「暗誦の部」で準優勝、池上歩実さんが特別賞（北海道中国会賞）、中村早那さんが「朗読の部」で特別賞（北海道新聞社賞）に、それぞれ入賞しました。大会の審査員講評においては、佐藤英三子審査委員長が、特に「暗誦の部」で準優勝を取った菊池君について、きれいな発音で、しかも中国の文豪である朱自清の名作「匆匆」を完璧に暗唱されて聴衆を魅了したと、高く評価しました。来年度も本学から多くの学習者が大会で健闘することを期待します。（蘇 林）



全日本中国語スピーチコンテストで入賞した（左から）菊池勇太さん、池上歩実さん、中村早那さん、写真左：漢語橋世界大学生中国語コンテストでオンライン審査員として加わった蘇林教授（右）と劉珣講師

### 北海道韓国語弁論大会など、コンテストに多数受賞!

新型コロナウイルスの影響で国外留学の機会が制限される中、本学の学生が韓国政府や日本の自治体が国内で主催するさまざまな韓国語コンテストに参加し、のべ13人が入賞を果たしました。各コンテストの趣旨と受賞者の顔ぶれを紹介します。（李 鳳）

#### 「私が好きな韓国語フレーズ大会」 金賞・銅賞・エール賞受賞

2021年6月には駐札幌韓国総領事館が主催する「私が好きな韓国語フレーズ大会」がありました。韓国語を母語としない日本居住者を対象とした大会で、杉浦楓彩さん（1年）が金賞、時田笑里さんと坂本夏鈴さん（ともに3年）がそれぞれ銅賞とエール賞を受賞しました。

#### 「2021韓日交流作文コンテスト」 道内大学では唯一、受賞者を多数輩出

9月には駐日韓国文化院（東京）が実施する「2021韓日交流作文コンテスト」において本学の学生6名が以下の通り入賞しました。今回、日本全国から3133通と過

去最多の応募が集まる中で、道内の大学では唯一、受賞者を数多く輩出し、非常に大きな成果でした。

#### 【韓国語エッセー一般部門】

入選：奥田彩加（4年）、栗原ひなた（2年）

#### 【韓国語旅行記部門】

入選：山田梨佳（4年）、小野寺花梨（1年）

#### 【日本語川柳・俳句部門】

入選：森谷朱梨（2年）

#### 【韓国語川柳・俳句部門】

入選：西恒輝（2年）

#### 「第2回ハングル三行詩コンテスト」 特別賞受賞

9月に、駐札幌韓国総領事館が主催する「第2回ハングル三行詩コンテスト」がありました。今回の課題は、北海道と済州島（友好交流協定地域）をテーマとした三行詩をつくることで、上根ひなたさん（3年）が特別賞を受賞しました。

#### 「第8回日韓フォトコンテスト」 上位受賞

日韓フォトコンテストは、日韓間の文化

交流促進と観光振興などを目的に、在韓国日本国大使館広報文化院をはじめとする日韓両国の行政機関、地方自治体などが協力し、実施している大会です。10月に開かれた「第8回日韓フォトコンテスト」において上根ひなたさん（3年）が2位を受賞しました。上根さんは三行詩コンテストとダブル受賞の快挙でした。（写真右上：オンライン表彰式に参加した上根さん）

#### 「第23回北海道韓国語弁論大会」 入賞

11月6日（土）に北海道近代美術館講堂において開催された「第23回北海道弁論大会」（主催：札幌韓国教育院・北海道韓国学園）において、本学の4年生の奥田彩加さんと2年生の木村永奈さんがそれぞれ「韓国文化コンテンツの力」と「韓国人の情」というテーマで奨励賞（共同）を受賞するという快挙を成し遂げました。（写真下：左から奥田彩加さん、李鳳准教授、木村永奈さん）



## 研究のいま ● 大柳幸彦 教授 「ホスピタリティとデジタル化」

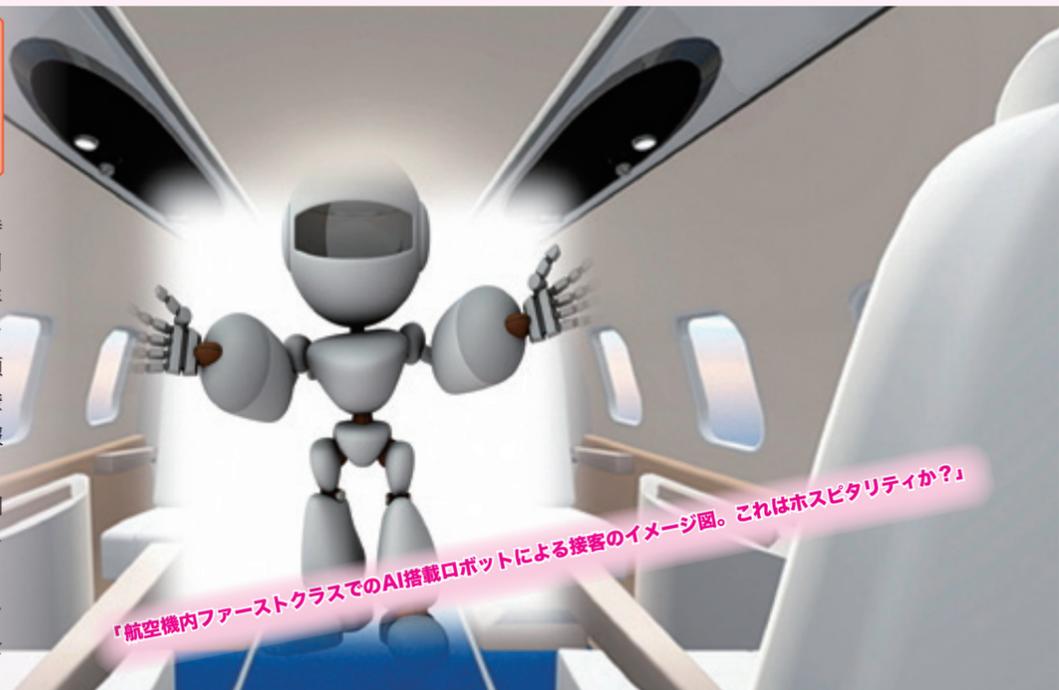


観光産業界ではICTの発展を背景にサービス部門の内、特に事務的な業務の機械化、ロボットの導入、アバターの利用等デジタル化が急速に進められています。さらに、2020年初頭からのコロナ禍の中、人と人の接触を避ける新型コロナウィルス対策とも合致し、デジタル化がますます加速する傾向にあります。レストランでのロボットによる配膳や、航空会社カウンターでのアバターによる対応等はニュース等で報道されているところです。

一方、観光産業界を一層成熟させるためにはサービス部門のさらなる質的向上が課題となっており、そこで重要なキーワードのひとつとして挙げられているのが「ホスピタリティ」です。米国を中心として、宿泊、飲食、旅行、広義では教育、医療、福祉等まで含む産業を中心にホスピタリティ産業というカテゴリーが存在し、ホスピタリティ産業は経済全体に与える影響が大きく将来の経済成長の一端を担うものとして捉えられています。

ホスピタリティは、一般的に「もてなし」「歓待」と訳され、その場面において定義は多少異なりますが、特に観光産業界においては、「人」が「人」に対して行なういわゆる「もてなし」の行動であり、接客・接遇の場面で使われるものです。ホスピタリティ行動には、実際に顧客に対峙する人の暗黙知が重要であり、顧客の要求を先読みして対応することや顧客もまだ気づいていない要望も予測、深読みして行動することまでも求められます。同じ顧客へ同じホスピタリティ行動で対応した場合でも、顧客のその時の体調、気分、午前・午後、季節、天候等によって反応が違うことは容易に想像されますが、人の生来備わっている能力に加え、経験の積み重ねによって得られた能力等により、優れたホスピタリティ行動の提供者はほとんど瞬時に顧客への最適なホスピタリティ行動を選択することができます。

人に備わっている情報処理能力をパターン認識といい、画像、音声、文字等雑多な情報の



中から「意味」のあるものだけ取り出すことができます。パターン認識をコンピュータで実行しているのが機械学習と呼ばれるもので、研究は比較的早くから行われていて多くの技術が蓄積されています。

「人」と「人」との関わりが観光産業界におけるホスピタリティの基本であり、そのためホスピタリティ行動のデジタル化については議論のあるところですが、現在その実現に向けて、パターン認識の代表的な技術である文字認識、画像認識、音声認識とさらに統計的自然言語処理の技術等を駆使し、ホスピタリティ行動の対象となる「人」の表情、言葉、素振り等の対象者固有の特徴と気候、天候、季節等の環境要素を複合的に絡み合わせて解析し、ホスピタリティ行動デジタル化の最適解を算出する研究に取り組んでいます。

## 北海道地域観光学会 第8回全国大会

「北海道地域観光学会」をご紹介します。

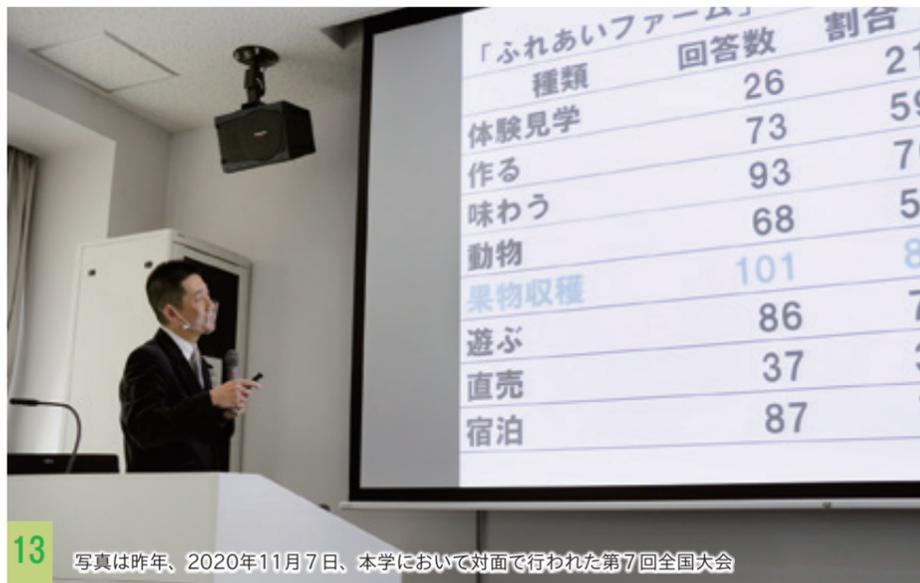
2019年に、札幌国際大学より本学に学会事務局が移管されて3年目をむかえております。学会会長の伊藤昭男学長代行のほか、事務局長を私、伊藤が、副事務局長を深澤先生が、会計係を玉井先生が務めており、本学はまさに学会の拠点となっております。

2020年の緊急事態宣言を受け、本学会も他学会同様、活動はかなり制限されてきました。特に、昨年度は全国大会の開催自体も危ぶまれましたが、会員の皆様のご理解とご協力により、本学を会場とした対面型での開催にこぎつけることができました。

そして、今年度は、新たな試みとして、「ナレーションを付けたパワーポイントデータを配信する非対面のWeb利用による、いわゆるアーカイブ型」の全国大会を計画予定しております。

2022年1月の開催へむけて、現在、会長はじめスタッフ一同が一丸となって準備を進めているところです。

観光産業学科を擁する本学の関係者の皆様におかれましては、是非、本学会へご関心を寄せていただきますとともに、学会への積極的なご加入、大会へのご参加を心よりお待ちしております。(伊藤 寛幸)



13 写真は昨年、2020年11月7日、本学において対面で行われた第7回全国大会

14

## O・B・OG NOW! 人生の転機は訪れます。

登別市出身で1965年(昭和40年)生まれ、現在登別市議会議員をしています。高校までを登別市で過ごし、昭和59年に大学へ入学し、昭和63年3月に卒業しました。

当時、大学は北見市にありましたので、下宿暮らしも経験しました。ゼミナールは、今も非常勤で教壇に立たれていらっしゃる、菊地均教授のゼミナールに所属しておりました。

成績はあまり良い方ではありませんでしたので、親のコネで厚生団(後に厚生年金事業振興団と改称)という団体に就職しました。ここまでは明らかに「苦労知らずのドラ息子」であったと改めて思います。しかしこれ以降は世間さまの洗礼を受けることになりました。

東京本社で形ばかりの研修を受けた後、愛媛県の勤務となり、松山行きの片道航空券を渡され、約20年間にわたる苦渋に満ちた本州勤務が始まり、全国各地を転動しました。身心共に水面飛行すれすれでしたが何とか生き残り、平成20年4月 登別厚生年金病院に転勤という形で42歳の時に故郷の登別に帰ることになりました。

初めての病院勤務は私の職業観を根底から覆すものでした。人命を預



登別市市議会議場で

● 登別市議会議員

15

若木 康夫さん [商学部商学科第8期卒業]  
ワカキヤサオ



かっているのが当然ですが、医師を頂点としたエビデンスに基づいた治療方針や高度な知識、専門用語の飛び交う世界に翻弄されながら、医師や看護師が丁寧に熱心に患者さんをケアする姿を見て、私の中で自分の使命とは何であるのかと言う問いが萌芽しました。その後見えない水路に導かれるように病院を退職し平成27年、市議会議員選挙に立候補し、大勢の皆さまに助けられ議員2期目として現在に至っております。

大学時代の思い出と言えば、前述のとおり冴えない成績でしたが、今も印象に残っている講義があります、その内容はこうです。「今後は『コンビニエンスストア』という小規模店舗が小売業の中心になる時代が来る。これには、食品、日用品の販売はもとより銀行機能、役場の簡易機能が完備され、公共料金の支払いが出来、そしていずれ無人化になる」。昭和の時代の私にはイメージが湧かず「そんなものができる訳がないべや」、というのが当時の率直な感想でした。あれから34年経った今、まだ無人化までには至っていませんが、あの講義内容はほぼ正確に未来を投影していたと考える次第です。

人生には何度か大きな転機が訪れるといいますが、私の場合は病院への転勤であったと感じています。皆さんの人生にも、今後そのような機会が訪れると思いますが、私の経験では日頃から努力をしている人に好機が多く訪れている気がします。そのチャンスをしっかりと掴んで次のステージに進んでいただければと思います。

後輩の皆様の、人生の幸運を祈ります。

# 高大連携のさまざまなプログラムを実施

## 北海道運輸局、企業と共催で物流体験会を実施



今年度も連携協定を結ぶ北海学園札幌高等学校・札幌東商業高等学校・札幌国際情報高等学校の3校とともに、さまざまな高大連携のプログラムを実施して参りました。

まん延防止等重点措置や緊急事態宣言などコロナ禍による制限のため、中止にせざるを得なかった企画も多くありましたが、札幌国際情報高等学校グローバルビジネス科1年生120名を対象にした「物流体験in石狩湾新港2021」を開催できたことは幸いでした。昨年に引き続き、運輸局や北海道トラック協会をはじめ、多くの企業や団体のご尽力により実現できた、高大連携のみならず産学官連携のプログラムです。

その他、大学で韓国語や中国語を学ぶ講義、観光やビジネスを専門とする教員の高校への出前講義など、単発の出張授業ではできない長期的視野に基づいた連携授業を進めることができました。これらの授業を受けた協定校の生徒が本学に進学し、一貫した継続的な学びによって語学力や専門知識を深め、スピーチコンテスト等で活躍するといった風景も見られるようになってきました。

今後は観光やビジネスに関する授業を増やし、さらなる連携強化を図っていきたくと考えています。(保坂 智)



写真左・中上：札幌東商業高等学校で講義を行う相浦宣徳教授、他写真は札幌国際情報高等学校で行ったグローバルビジネスセミナー（相浦宣徳教授の講義）と石狩湾新港での物流体験（保坂智准教授が同行）



16

17  
18



伊藤寛幸ゼミⅠ・Ⅱの皆さん



3年の河原李果さん(左)と成田薫さん(右)

「7名の面々は、かなり個性的で、後期1回目のゼミから、互いの個性がぶつかり合い、ゼミ生自身、それまでに自分が持っていない新しい視座から思考することを学び、さらに、これまでは相容れることがなかった多様な意見を峻別・統合する能力を育んでいます」と伊藤教授。

「さらに、ゼミでは、観光学関連の洋書輪読を課しています。現在、図書選定に関してもゼミ生に委ねています。どのような書籍が選ばれてくるのか、伊藤教授はたいへん楽しみにしているとのこと。洋書輪読という同調圧力によって、読書を通じた動機づけを、「維持する薬」にしてほしいと述べています。伊藤教授は常々ゼミ生へ「大学という場所は、本来、すぐには使えないが、いつか使えること」を会得する場所」と力説しています。そのうえで「ゼミ生が成長できる時間と空間の共有」をゼミの理念としています。

### ゼミ訪問

#### ◆伊藤寛幸 教授 観光研究ゼミナール◆

観光産業学科では、観光ビジネスに必要な幅広い知識やコミュニケーション能力を系統的、学際的に学びます。2年生後期(第4セメスター)からは、習熟度や応用力をさらに高めるための観光研究ゼミナールが開講されます。今回は地域の活性化を観光産業の視点から研究を進める伊藤寛幸教授のゼミナールⅠ・Ⅱ取材しました。

伊藤教授が、農業経済学の出身ということから、本学における研究分野は、アグリツーリズム、フードツーリズムを中心に、農業農村観光研究を展開しています。2020年の新型コロナウイルスによるパンデミックもたらした社会の変容を受け、コロナ禍のなか、「マイクロツーリズム」に注目が集まりました。伊藤教授も、このマイクロツーリズムに着目し、地元サッポロにおけるフードツーリズム研究と融合させて、「マイクロフードツーリズム」をゼミの中心テーマに設定しています。

感染リスクを回避しながら、札幌市内で、マイクロツーリズムおよびフードツーリズムを実施する予定です。ゼミ生は、2年生3名(男子2名、女子1名)、3年生4名(いずれも女子)計7名で構成されています。

おり、ゼミ長ほか、様々な役割分担をゼミ生自身が選出するなど、伊藤教授は自主的な運営に期待しています。既に2年次にこのゼミナールⅡを経験している3年生の成田薫さんと河原李果さんは様々なフィールドワークを経験しています。自主的に取り組めるゼミの雰囲気、「自由で楽しい」と言います。これから取り組むマイクロツーリズムのフィールドワークは、実際の調査がむずかしい数値をいくつかの手がかりをもとに論理的に推測する「フェルミ推定」を用いてアプローチします。この「手がかり」は各自が考えなくてはなりません。伊藤教授はこのような場合の発想力から導き出される創造力こそが、就活などにも直結する力になると言います。

### 卒論 Interview

4年生前期の第7セメスターで履修するゼミナールⅣでは、卒業論文作成の基礎能力を身につけます。そこからさらに卒業論文に取り組んでいる4年生を紹介いたします。



菊池若菜さん



斉藤アスカさん

伊藤寛幸ゼミに所属する菊池若菜さんと斉藤アスカさんは、4年生前期まで観光研究ゼミナールⅣを伊藤寛幸ゼミで履修し、4年生後期の現在、伊藤寛幸教授指導のもと、卒業論文の執筆に取り組んでいます。

テーマは、菊池さんが「北海道におけるふれあいファームの登録に関する考察」、斉藤さんが「北海道遺産の地域特性の把握」です。

2年生と3年生で、伊藤寛幸教授の講義でふれた、「ヘリテージツーリズム」と「フードツーリズム」に関する講義内容に興味を持ったことがきっかけと聞いて、伊藤教授も、専門科目講義において発信する情報の意義と、講義間の有機的な連携の確保の大切さを実感していました。

多くの4年生がそうであるように、ふたりともに卒業認定単位の124単位は、すでに取得済です。4年生後期の履修科目は皆無であるにもかかわらず、伊藤教授の指導の際には、伊藤教授が指定した指導日に無遅刻無欠席で、対面指導を受けて登校しており、当初の研究計画を着実に熟しています。

菊池さんは「専門科目で興味を持ち、伊藤寛幸先生のゼミを選択しました。そのまま受講ゼミを変えずに、伊藤先生の卒業指導を受け進められたことがとても良かった」。斉藤さんも同様に「ゼミを継続してきたからこそ卒論に取り組んで得られた発見、知識などが多い」と言います。

卒業論文へ取り組むきっかけもかなり純粋でした。就職活動の際に、「あなたが取り組んでいる(取り組んだ)卒業論文についてお話しください」という企業の面接官からの質問に対して、回答できなかった自身への反省とともに、「大学では卒業論文に取り組まなければならないのだ」と奮起したとのこと。

必修ではない卒業論文へ取り組む先輩方の姿をみて、後輩たちはどう感じるのか。自主性を重んじる伊藤教授が日々在学中に問い続けているなか、菊池若菜さんと斉藤アスカさんは、今日も卒業論文の執筆に奮闘しています。

# STAFF NOW!

皆さんこんにちは。事務長の葛西です。

私は、窓口からは一番遠い場所に座っておりますから、学生の皆さんとお会いする機会も随分減ってしまいました。事務の統括と、入試広報、学生支援、キャリア支援も担当しておりますので入学前の進学相談会やオープンキャンパス時や、入学後は、就職指導等でも皆さんとお会いする事もあります。

本来、事務の仕事より、学生さんの就職相談や、学生生活の相談の対応をしている方が好きですから、出来るだけ就職面談や、就職相談対応など学生の皆さんと会うことを心がけております。時には卒業生が、大学を訪問してくれて結婚や子供が生まれた事などを報告に来てくれたり、就職指導をした卒業生が、今度はご子息の入学について相談に来る事などが、最近とても嬉しく思っております。

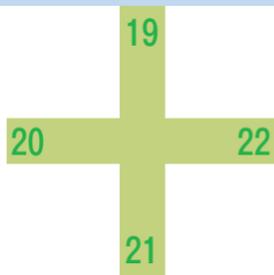
大学に勤務してあつという間の39年、たくさんの学生さんと関わり、卒業生を送り出してきました。何ととっても大学にとって一番の宝は、社会で活躍する「卒業生の皆さん」であると私は常々思っております。「北海商科大学（前身の北海学園北見大学）の卒業生で良かった」と言ってもらえる大学を目指して事務スタッフの一人として今後も頑張りたいと思っております。

写真右：オープンキャンパス全体説明会での葛西事務長

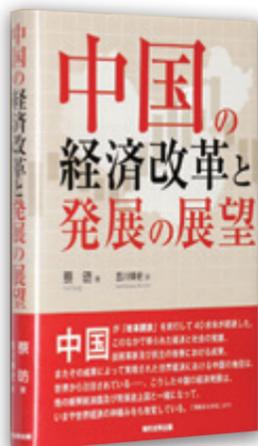
■大学院・大学事務長  
葛西 史康 [カサイ フミヤス]



## ● 新刊紹介 ●



『タブレットでふれあう  
エンカウンター(教育エクス)』  
大友秀人(本学教員)他編著  
2021年10月/図書文化社



『中国の経済改革と発展の展望』  
蔡昉著/西川博史(北海学園特任教授)訳  
2020年2月/現代史料出版



『観光発展史における  
マス・ツーリズムの意義と展望』  
郭倩(北海学園北東アジア研究センター)著  
2021年8月/現代史料出版



『北東アジアの地政治—米中日口の  
パワーゲームを超えて(スラブ・ユー  
ラシア叢書15)』  
岩下明裕編著・舩田佳弘(本学教員)  
他共著  
2021年11月/北海道大学出版会

## @カウンセリングルーム Newsletter

### 「一人で抱え込まないで」

カウンセリングルーム

小林 美穂子 (臨床心理士・公認心理師)



コロナ禍になって2年弱が経過しました。まさかこんなに長引くとは予想もできなかったですね。こうした中で、「思い描いていた学生生活が送れていない悔しさ」「感染にまつわる恐れ」「経済的な不安」「オンライン授業への戸惑い」「友だちができない寂しさ」「就活への焦り」「ちょっとしたことでイライラ」「先行きが見通せない苛立ち」など、いろんな思いを抱えながら過ごされている方が多いのではないかと推察しています。それでも、「こんな思いをしているのは自分だけではない。大変なのは皆同じなのだから、仕方がない」と、何とか自分をなだめたり、折り合いをつけたりしているのではないのでしょうか？

例えば、私自身のことを言うと、コロナ禍になる前は、気の合う友人との食事会が大きなりフレッシュの場になっていました。けれど、「ご飯を食べながらのおしゃべり」という以前ならごく当たり前だったことを、「今は仕方がない」と諦めています。「感染拡大防止」にふさわしい行動が求められる今は、自分の楽しみにしていることを抑える場面も少なくありません。

このように小さな我慢が積み積もり、もしかしたら自分が思っている以上にストレスや疲れがたまって、身体や心に影響が出ることもあります。そんな時は、どうぞ気軽にカウンセリングルームに立ち寄ってください。話をするだけでも気が楽になることもあります。また、対話を通して、頭の中を整理したり、違う視点からものごとを眺めてみたり、望む方向を一緒に探索することもできます。

どんな悩みでも、一人で抱え込まないで気軽に連絡してください。お待ちしております。

## 行事予定

12/17(金)	総合型選抜(II期)試験準備日 学校推薦型選抜(併設校)試験準備日	2/18(金)	一般選抜合格発表 大学入学共通テスト利用選抜(1期)合格発表
12/18(土)	総合型選抜(II期)試験日 学校推薦型選抜(併設校)試験日	2/21(月)・22(火)	合同業界研究会(web実施)
12/24(金)	総合型選抜(II期)合格発表 学校推薦型選抜(併設校)合格発表	3/1(火)	卒業生発表
12/27(月)	冬季休業開始	3/1(火)~3(水)	合同企業説明会
2022/1/7(金)	冬季休業終了	3/5(土)	後期修学指導面談
1/11(火)	講義再開	3/11(金)	大学入学共通テスト利用選抜(II期)合格発表
1/14(金)	卒業論文提出期限	3/18(金)	卒業証書・学位記授与式/卒業生を送る会
1/15(土)・16(日)	大学入学共通テスト試験日	3/22(火)	学年末休業終了
2/1(火)	後期講義終了		次年度前期・対面ガイダンス①(予定)
2/2(水)	学年末休業開始	3/23(水)	次年度前期・対面ガイダンス②(予定)
2/7(月)	後期・成績開示 一般選抜(2月8日試験)試験準備日	3/24(木)	次年度前期・新2年次履修相談/登録日 成績不振者面談(予定)
2/8(火)	一般選抜(2月8日試験)試験日	3/25(金)	次年度前期・新3年次履修相談/登録日 成績不振者面談(予定)
2/9(水)	後期・成績異議申し立て受付開始	3/28(月)	次年度前期・新4年次履修相談/登録日 成績不振者面談(予定)
2/10(木)	一般選抜(2月13日試験)試験準備日	3/29(火)	全学年履修登録訂正日①
2/13(日)	後期・成績異議申し立て受付(オンライン)終了 一般選抜(2月13日試験)試験日	3/30(水)	全学年履修登録訂正日②

### ◆ カウンセリングルームの利用方法

利用時間：[火曜日] 13:00 ~ 17:00

E-mail : soudan@hokkai.ac.jp

まずは、メールで予約をしてください。予約の際は、①氏名 ②学籍番号 ③希望日時をお知らせください。その際、差し支えなければ簡単な相談内容も書き添えてください。折り返し、相談日時などについてのメールをさしあげます。